

準本コンセ

「ウは、増
爪を生かし
ら調達す
「ウ園を持
、特定の
「ウの出来
「ウが左右さ
「フリー経営
後は専用
「秋から
「を開始。
「のワイン

静岡県バイオマス
活用推進計画策定
静岡県は、木くずや
廃食用油など再生可能
な生物由来の資源の利
用推進を目指す「県バ
イオマス活用推進計
画」を策定。二〇二〇
年度をめどに十種類の
バイオマス資源の活用
目標を定めている。
県は一二年三月に

「新エネルギー等導入
倍増プラン」を策定。
各種資源のうち、発生
量が多いわりに利活用
が進んでいない食品廃
棄物、生ごみ、間伐材
のエネルギー利用を重
点取り組みに挙げた。
特に衰退する林業振興
のため山林に放置され
ている間伐材の利用拡
大を図る方針。
(広瀬和美)

を感じる声も多い。
本書では一部で、デ
イバート、ロールプレ
ーなど学習手法を解
説。二部で実際に使え
る教材と実践例を紹介
した。実践例では、異
文化との接し方や日本
の魅力発信のヒント、
地球環境や貧困問題に
ついての考え方などが
身に付くように構成さ
れている。

「国際教育」の指針 9日出版



執筆したのは国際教
育に携わる高校教諭や
青年海外協力隊などで
活動したNPO関係者
ら。編集に携わったメ
ディア総合研究所の福
田訓久さんは「すぐに
教育現場で使えること
を念頭に置いた」と話
している。

増子社長
「リエや酒
マルキヨ
る。ワイ
「ウでジュ
、高付加
「ことも検
「テクノロ
「(東京都
「イン学の
「いる増子
「は、ワイナ
「実習の場
「あるワイ
「を公開す
「げたい」
「ている。

国際教育について教
師の指針となる教材
「グローバル教育」(N
PO法人全国国際教育
協会監修・メディア総
合研究所発行) 写真
IIが、9日発売される。
自己啓発にも使えるよ
う編集しており、担当
者は「生徒らが導く働
き者」価値を持つ人々と共に
生きる力を養う一助に
なればと話している。

教材はB5判で九十
六ページ。映像や教師用資
料などを収めたCD-
ROM一枚が付く。千
九百円。書店にない場
合はメディア総合研究
所 電話03(5414)
6210へ。
(仁賀奈雅行)

はごうか。

編集部「談話誘発」係へ、
Mitsukari@dotkyo-inc.jp) へ。

東京・芝大門にある増上寺の境
内には、桜をひさしにしたベンチ
があります。広大な敷地の一角に
こぢんまりと設けられた三脚のベ
ンチは、東京の真ん中に大席分、
太陽と風を感じられるぜいたくな
場所を用意してくれました。

「はごうか。
「さらに、松木溪谷と足尾製
錬所跡などの負の遺産を一つ
のエコツーリズムの対象とし
てとり上げ、江戸時代からの
豊かな自然が残る中禅寺湖や
日光東照宮などと比較対照し
ながら、近代産業によるすざ

大事なものを通らなかつた私は、時間
まで気を紛らわすため、ヒル街を
抜け、増上寺へ行きました。ベン
チに
「東京新聞は
プレゼントを
分けてくださ
います。1000
円分です。お
品は「東京新
聞」です。